

暮らすなら 都会？地方？

松山大で就活生が議論

都会と地方それぞれの良さを
話し合う松山大の学生



就職を控えた大学生が都会と地方の良さを比べる産官学連携講義が10日、松山市文京町の松山大であり、3、4年生45人がゲームを通して将来の仕事と暮らしを考えた。

教材は市中小企業振興円卓会議の人育ち応援部会が、子どもらの職業選択に役立ててもらおうと2016年4月に作成した「未来デザインゲーム」を使用した。

6人ほどのグループに分かれた学生は、仕

事と暮らしの両面での都会と地方それぞれの良さと残念なところを書いた付箋をグラフに貼りだし「生まれた町に愛着があるから地方がいい」「競争が激しい都会のほうがやりがいがある」など意見交換していた。

経営学部3年の佃芽映さん(21)は「自分の中で仕事のやりがいの優先順位が高いことに気がついた。幅広い視野を持って就職活動したい」と語った。

(山本茜)